

全体講評

この答案は前半部分で出生率を向上させるための取り組みが極めて具体的に書かれており、あまり手を入れる余地がないほどです。しかし、後半部分で「高齢者の暮らしを守る」という、設問の内容とは無関係な話が出てきて大幅に減点せざるを得ないのです。

ここで設問をしっかりと読んでいただきたいのですが「人口の安定を図る」とは何を意味するのでしょうか。素直に考えれば、人口の減少を食い止め、横ばい状態にして安定させるという意味だととれます。問題文の前半で、この先日本全体で急激な高齢化が進むことが記述されていますが、年齢構成に極端な偏りがあると人口が加速度的に減少していきます。神戸市でも人口の減少が始まっている中でそれを少しでも食い止め、一定数の人口を維持する方策を考えて下さい、というのが問題の趣旨です。

従って、答案の後半で出てくる「高齢者の暮らしを守ること」は、今回の設問とは無関係な話になってしまうのです。ここで書くべきなのはあくまで人口減少をどうやったら食い止められるか、どうやったら今の人口を維持できるかということです。

第2段落の話はよくかけているので、これはいかししつつ、さらに別の視点からも、人口維持の政策を加えてみましょう。地方で人口維持の問題を考えると二つの視点が大事になります。まず、その地域を若者が住みやすい街にすること。そして、そこで出産や子育てができるような環境を整える事の二つです。いかに託児所が整備され、出産費用助成などの制度が整っていたとしても、その地域に雇用がないというような状況では、若い世代が住むことにつながりません。従って、若い世代を引きつける街にすること、そして子育てしやすい街という2段階で政策を考えてみましょう。下段に答案の構成例を示しました。

論述力 (A~E)	説得力 (A~E)	独創性 (A~E)	合計点	合格目標点
A	B	C	60	70

書きなおす上での注意点

それでは答案の構成を考えてみましょう

第一段落

- ・急激な人口減少と高齢化は、社会保障の不安定化や労働力の不足などさまざまな問題を生み出す。
- ・神戸市でも人口減少局面に入っている中、少子化を食い止め人口を維持する政策が求められる。
- ・そのために、若い世代が定住し、出産や子育てがしやすい環境を作ることが重要。

第二段落

・若者の定住を考える上で、雇用や住居の確保は欠かせない。神戸市は大都市であり雇用は恵まれている方だが、高校や大学卒業後、東京、大阪方面で就職する者も少なくない。ポートアイランドなどに企業の研究所、大学などを誘致し魅力ある働き口や進学先を確保する。さらに20代の若者には一定期間住むことを条件に市営住宅の家賃を割り引く。

第三段落（ここは答案の第二段落の内容を中心に多少手を入れる）

- ・出産・子育ての環境を整えることも重要。世論調査などを見ると結婚や出産に二の足を踏む理由は、費用や経済的な問題。したがって出産費用助成金制度、子供の医療費の補助などの政策が必要。
- ・さらに女性が仕事と育児を両立できる環境を整える。託児所の確保、育児休業取得者の代替雇用のための助成金や在宅勤務制度の推進。特に男性の育児休業取得率が低いと取得に向け積極的な啓発活動、助成が求められる。
- ・教育費負担も大きな問題である。例えば子供二人目からの高校の授業料の補助をすること。市独自の高校生、大学生向けの奨学金制度の導入などが望まれる。

第四段落

- ・このような政策によって一時的には子育て世代向けの費用増加につながるが、高齢社会を支えるためにも、少子化を少しでも食い止めることが必要である。